

栳柿は種類甚多し、その實の形方あり、圓あり、長あり、扁あり、大あり、小あり、皆形により名を異にす、又産するところの地名を以よび、或は人名を以名づけしものあり、その葉霜後鮮紅愛すべし、是も若木は能そむるものなれども、實を多く結びしは、紅葉はえなく、實のらざる年はよく鮮紅なるものなり、

柿種類

〔和漢三才圖會八十七〕栳柿 胡國名 柿本 柿俗 柿音肺 削木片、和名加岐〇中

按〇中 凡栳品類甚多、和州五所之産最勝、今畿内皆移種之、體圓扁微帶方、微尖、肉紅色、味甘潤脆、其蒂處縮陷、形異於諸栳、其核小肥圓尖、俗呼名五所栳、或名大和栳、事類合璧所謂、八稜稍扁栳、此類乎、畿内之外種之接之、皆不佳、試移種於薩州、甚澀不堪食、但甲州之産亞子和州耳、

似栳利爾太 似五所而肥滿不扁者、味大劣、

伽羅栳 一名透徹、栳形長圓微尖、肉中如沈香木理、而味脆美、亞五所栳而上品、

圓座栳 形大肥圓、附蒂處肉起作癩者、所謂著蓋栳乎、

筆栳 形小而長、本草所謂鹿心栳和名夜末加岐、是乎、

樹練栳 形如鳥卵者、攝津丹波多出之、所謂雞子栳乎、

田倉栳 形圓大於諸栳、而味澀、以爲醃栳、所謂塔栳乎、〇中

棹栳 漆栳 花棹 烏棹 青棹 綠栳 赤棠棹 俗云之布加木、此木老者心黑堅、俗名黑栳、

本綱、棹栳乃栳之小而卑者、大如杏、他栳至熟則黃赤、惟此栳雖熟、亦青黑色、擣碎浸汁、謂之栳漆、可以染罽扇諸物、不可與蟹同食、

按、栳漆俗云之布 造法、棹栳一斗去蒂、和水二升五合、確擣盛桶、經宿榨之、渣亦和水、經二日再榨之、其用甚多、染紙爲衣、爲行李裏、染布爲酒搾サカヅケ、或和墨塗篋、皆爲水不易朽、或漆塗之、下先用栳漆、凡栳漆夏月焦枯難貯、茄子切片可投入、又流栳漆於川上、則鱖鯽大醉浮出、